

個に応じた学習

AI機能のある学習支援ソフトウェアで、子どもたち一人ひとりの理解度や、特性に応じた学習に取り組んでいます。授業で使うほか、休み時間や家庭でも各自のペースで取り組みます。

読解力の向上に

ICT教材 「まるぐランド」

県内唯一
三条市で導入

年2回のチェックテストで、AIが子どもたちの読み書きの得意と苦手を把握し、個別のレッスンを自動提案します。個々の読解力の向上を図りながら、学習意欲と自己肯定感を高めていきます。



主体的な学習を促し、基礎学力を養う

AIドリル 「ドリルパーク」

子どもたちは、教師から配信された課題や、AIによる理解度に応じた問題に自分のペースで取り組むことができます。前や次の学年の問題も自由に選択できます。連続正解や全問正解するとポイントがもらえるなど、楽しい仕掛けでやる気を出しています。教師は、子どもたちの学習状況を確認し、一人ひとりにコメントを配信できます。



教師の声

学習履歴から、子どもたちが自分の苦手な問題に向き合い、解けるまで取り組んだ様子が分かります。画面越しに主体性が見えてきます。



児童の声

問題を多く解くとポイントがもらえるのが楽しみです。自分の苦手が分かるようになっていて、テスト前の復習に使うこともあります。

紙やノートも大切



資料やスライドごとに切り替わる大型モニターのほかに、教師は授業の流れを黒板に残し、子どもたちが授業を振り返られるようにしています。また、ノートや黒板を撮影してアプリで共有するなど、デジタルとアナログ、それぞれのメリットをいかし、組み合わせて学習しています。



現在、三条市の小・中学校、義務教育学校では、子どもたちが自分専用のタブレット端末を使って学習しています。授業では、個々のタブレット端末から自分の意見を友だちと共有することで対話が促進され、学びが深まっています。また、AI(人工知能)機能のある学習支援ソフトウェアを使って、子どもたちがそれぞれのペースや理解度に応じた学習を行っています。

教育現場で、子どもたちがどのような学び方をしているのか、また、デジタル化が進む中で、三条市が変わらず大切にしていることなど、本号では、子どもたちの学びを深めるための最新の取り組みをお伝えします。

三条市の教育の今 学びを深めるために

特集
1

学校教育課

☎45-1116

こんなに進化しています! 学校の授業

教材提示

これまで紙で配っていた資料は、教師から子どもたちのタブレット端末と大型モニターへ一斉に配信できるようになりました。画像の拡大や書き込みもできます。音声や動画などの教材を活用して分かりやすく伝えることができます。



課題発見

子どもたちは、タブレット端末に提示された教材を基に、分かったところと分からないところを整理し、クラス全体で解決していく課題を決めます。タブレット端末で各自の考えを提出すると、大型モニターに一覧で表示されます。誰がどのような考えかを瞬時に共有でき、その場で意見交換できるので対話が進み、学びが深まります。



話し合い、発表

これまで教師の指名で一人ずつしていた発表が、今はリアルタイムで意見を共有でき、話し合えます。子どもたちが相互で新たな表現や考えを参考にすることができます。

